

10

無限の道

幼い時から歌舞伎に携わってきた「私」は、戦争から帰ってきてから女形の道を歩き始めました。追いかけても追いかけても限らない「芸」の道の厳しさに、途中で放り出そうとしたこともありました。が、「死んだつもり」で生きてきた中で、芸の道がおぼろげながらも見えるような気がしてきましたと言います。



わたし なかむらじやく えもん
私 (中村 雀 右衛門さん)

